

基礎プログラム2感想

c1071718

2 学年 箱石 順

基礎プログラミングの講義を受けてみて、私の中で深く考えるということの大切さを考えるきっかけになった講義だと思います。前期の基礎プログラミング1の講義を受けていた時にも思いましたが、前期よりもさらに後期の方が、しっかりと考えること、深く問題と向き合う事の大切さをこの身をもって体験することが出来たと思います。前期の講義ではその事に気付いて時は授業の半分以上を過ぎてしまっていたのですが、後期にいたってはそのモチベーションを講義の最初から今まで保ちキープすることが出来ました。それによってレポートの結果も前期に比べて講評を貰うことが出来るようになってきたし、レポートの内容に関してもある程度は妥協してきていた前期に比べて納得のいくまでプログラムを組む事が出来たという実感もあるし、自分としてはある程度の力がついてきたのではないかという自信のようなものも備わってきたと思います。何事も根気をもって取り組んで行けば結果はついてくると思うし、そのことが本当に大切なものだというふうに強く感じました。

あと基礎プログラミングの講義で得た事は、レポートを期限道理に提出する事の大切さです。前期後期を通じてレポートを期限道理に提出してきました。しかし、学校のレポート、課題は当たり前にしても、自分が社会人になった時に仕事を期限道理に終わらせる事は当たり前に行けない事だし、それが社会人に必要不可欠なスキルであると考えます。この基礎プログラミングのレポートはそれらの社会人として必要なスキルをこの講義を通して学ぶ事ができたと思います。ある程度で妥協したものではなく、自分の中で納得の行くものを期限内で仕上げて提出するという考え方、能力はこの基礎プログラミング2という講義を受けなくては身につかなかったものであるというふうに強く感じました。

そしてその講義の中で特に CGI という技術は本当に実用性のある技術だと言うふうに思いました。Yahoo などのページでもよく見かけるような CGI ページを実際に作れるようになった事は、私の中では本当におもしろい事だったし、どのような技術があってその様な結果になるのかという仕組みも理解する事が出来ていたので何倍も CGI プログラムを作る事はおもしろかったです。それに CGI はアンケートやコメントを求めるようなページなどととても実用的な事の出来るというものなのでこれからの生活のなかで使う事のある技術であるというふうに強く感じました。